会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（３）職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回運営委員会 |
| 開催日時 | 令和4年11月28日　10時00分～12時00分 |
| 場所 | AP品川アネックス |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾（OL） 委　　　員：岡村　慎一、五十部　昌克、藤井　達也、山根　大助、谷　昌一、杉浦　敦司、松田　義弘（OL）、増子　卓矢（OL）、沖　直彦（OL）、松本　晴輝（OL）　　　　　　　　　　　　　　　　　計12名請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　計1名オブザーバー：八木　信幸　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計12名 |
| 議題等 | 〇今年度予定確認（五十部）・第1回運営委員会からだいぶ日が空きましたので、わたくしどもの　プロジェクトのミッションを確認します。(1)自己点検・評価【共通的評価基準モデル2022】普及セミナー(2)第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発(3)第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの検証(4)内部質保証人材育成プログラムの検証及び開発(1)自己点検・評価【共通的評価基準モデル2022】普及セミナー（五十部）・自己点検・評価普及セミナーは無事終了することができた。研修終了後のアンケート結果をみても概ね皆様方にはお役に立てた研修を開催できたと理解しています。・具体的な参加者等は、令和4年9月30日(金)福岡会場 参加33名　令和4年10月7日（金）オンライン配信 参加75名　令和4年10月14日(金)東京会場　参加31名という結果となりました。皆様ご協力ありがとうございました。・先に行われた実施委員会で、今回の開催に申し込みをお断りしてしまった件が複数あると報告したところ、委員から回数を増やして実施することを検討してほしいとの要望がございました。事務局に予算執行着地計算をしたところ年初に大阪会場とオンライン会場にて追加研修をすることをしたいと思っておりますが、いかがでしょうか？・大阪会場を選んだ理由は何かあるのか？オンラインのみの実施でも良いのではないか（松本）・これまでの受講者を見てみると関西エリアからの参加が少ないので大阪を選んだ。1月開催が適切かどうかと問われるとやってみないとわからない（五十部）・予算としては、ギリギリな感じですが、ニーズがセミナーなので、他の費用を切り詰めて捻出する。（飯塚）・当会としては、開催案内ができしだいHPから募集支援をいたします。（藤井）（２）及び（３）第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発／検証（五十部）・簡略化モデル完成版及び運営ガイドラインの検証は、私立専門学校等評価研究機構とJAMOTECに審査を依頼しました。また、本日ご参加の先生の中からも岡村さん、山根さん、谷さんには審査員として参加をお願いしています。・受審校は、静岡県東部総合美容専門学校、長野医療衛生専門学校、YIC京都ペット総合専門学校の3校を対象とて連絡しており、3校からは概ね了解を得ており、各校評価表やエビデンスの作成に入ったところです。・スケジュールは、12月上旬に評価担当者への説明会を行い。12月中に書類審査、1月上旬にリモート審査と1月下旬に現地審査を実施する予定です。・受審校3校には委員の方々にご同行いただくと良いですね。また、審査員の確保という観点からも委員の方々の積極的な参加を求めます。（岡村）・私も同意見です。やはり、審査を実際に体験してみると勉強にもなりますし、何より地方への普及を目指すことができます。（高岡）・どの範囲で審査を行いますか？（松本）・今回は、教育・学習面に重点を置き審査をしたいと思っています。カリキュラムや評価、また学習環境等が主体でモデルの検証をしていきます。（五十部）(4)内部質保証人材育成プログラムの検証及び開発（五十部）・内部質保証人材育成プログラムの検証は、11月25日に終了したが、残念ながら、10名程度の受講者しか得ることが出来なかった。この原因などについては、アンケートの結果等を参考に分析する。 |
| 配布資料 | ・第2回運営委員会　資料・自己点検・評価普及セミナー　アンケート集計結果・簡略化モデルの検証について・内部質保証人材育成プログラム研修　開催案内 |

以上